

2学期終業式での西山校長の話 社会の一員として行動しよう

< ノーベル平和賞 マララさんの演説から考えよう >

2学期始業式で「誰が見ていても、見ていなくても、正しい判断をして自分の責任を果たしてほしい」とお話ししました。そして、特に2学期のスタートで、『生活の中でのルールは、なぜ守るのか意識して行動しよう』（規範意識）、『これをしたら、これを言ったらどうなるだろうと考えよう』（相手意識）と呼びかけました。しかし、これは西部中での生活のことだけでなく、人間として生きていくのに求められていることです。これができないとどうなるか、ノーベル平和賞を受賞したマララさんの演説から考えてみましょう。

私たちは教育を渴望していました。なぜならば、私たちの未来はまさに教室の中にあっただのですから。ともに座り、学び、読みました。格好良くて清楚な制服が大好きでしたし、大きな夢を抱きながら教室に座っていました。ですが、こうした日々は続きませんでした。観光と美の地であるスワートが突如として、テロリズムの地と化したのです。400以上の学校が破壊され、女性たちはむちで打たれました。人々が殺されました。そして私たちのすてきな夢は、悪夢へと変わったのです。

私には二つの選択肢がありました。一つは黙って殺されるのを待つこと。二つ目は声を上げ、そして殺されることです。私は後者を選びました。声を上げようと思ったのです。私が自分の身に起こったことを話すのは、珍しい話だからではありません。どこにでもある話だからです。多くの少女に起こっている話なのです。私は、学校に行けない6,600万人の女の子の一人なのです。今日、私は6600万人の女の子の声を代弁しているのです。

親愛なる兄弟姉妹のみなさん。いわゆる大人の世界であれば理解されているのかもしれませんが、私たち子供にはわかりません。なぜ「強い」といわれる国々は戦争を生み出す力がとてもあるのに、平和をもたらすことにかけては弱いのでしょうか。なぜ、銃を与えることはとても簡単なのに、本を与えることはとても難しいのでしょうか。なぜ戦車をつくることはとても簡単で、学校を建てることはとても難しいのでしょうか。親愛なる姉妹兄弟のみなさん、私たちは動くべきです。待ってはいけません。動くべきなんです。政治家や世界の指導者だけでなく、私たち全ての人が貢献しなくてはなりません。私も、あなたたちも、私たちも。それが私たちの務めなのです。

みなさん、これで終わりにしようと思った最初の世代になりましょう。誰もいない教室も、失われた子供時代も、無駄にされた可能性も。男の子や女の子が子供時代を工場で過ごすのも、もうこれで終わりにしましょう。戦争で子供の命が失われることも、子供が学校に通えないことも、これで終わりにしましょう。私たちが終わらせましょう。この「終わり」を始めましょう。今、ここから、ともに「終わり」を始めましょう。

この後まもなく、マララさんの母国パキスタンでの悲惨なニュースが世界を駆け巡りました。武装ゲリラが学校を襲撃し、131人もの生徒らが殺されたのです。もしこの日本で、この西部中で起こったとしたらどうですか。これが、「誰が見ていても、見ていなくても、正しい判断をして自分の責任を果たしてほしい」ということにつながります。そして、特に2学期のスタートで、『生活の中でのルールは、なぜ守るのか意識して行動しよう』、『これをしたら、これを言ったらどうなるだろうと考えよう』と呼びかけたことなのです。

< よく考えて行動していこう >

人はこの社会の中で一人では生きていけません。自分のわがままを通すだけの人は、受け入れられない状況になっているのです。共存こそが、これからの人類共通のテーマです。世界で起こっていることも、この西部中で皆さんの回りに起こっていることも、同じ次元で起こっていることなのです。人間はそんなに愚かではありません。よく考えて行動していきましょう。



あいさつについて考える生徒集会

11月27日(木)に校友会本部の企画による「あいさつについて考える生徒集会」が行われ、株式会社酒井商会 代表取締役社長の酒井志郎さんのお話をお聞きしました。『元気な会社は朝礼から』を合言葉に行われている朝礼には、全国から見学者が訪れるほどだそうです。校友会で今年度「さわやか西部の日」を毎月2回実施してあいさつの向上に力を入れていることもあり、校友会長の希望で実現した集会です。

「先日の生徒集会で酒井志郎さんからあいさつを行う意味や大切さなどを教えていただきました。集会後の『あいさつ道路』や授業開始時のあいさつは、それまでより活気が出ている様子が見られます。これからも続けていけるようにしましょう。また、酒井さんから教えていただいた『0.2秒の返事』や『相手の存在を認め合う』ようなあいさつを心がけていきましょう」 （「さわやか西部の日」の朝、校友会長が行った全校放送より）

応急救護所設置・運営訓練 ～ りんどう体育館が応急救護所に ～

11月30日(日)に長野市保健所と長野市医師会等の関係者が参加して「大規模災害時応急救護所設置・運営訓練」が行われ、約80名の参加者が「応急救護所の開設、負傷者の誘導、医師によるトリアージや負傷者の治療、重傷者の救急搬送、応急救護所の閉鎖」の訓練を行いました。1週間前に長野県神城断層地震が発生したこともあり、参加者は初めての訓練に真剣に取り組んでいました。



本校のりんどう体育館は長野市により『応急救護所』に指定されており、昨年度は医療機材や医薬品が配置されました。今回の訓練もあ

わせ、着々と準備が進んでいます。なお、りんどう体育館は「避難所」にも指定されているため、来年度予定しているあさひ体育館の耐震化改修工事が終了したら、「応急救護所」はあさひ体育館になる予定です。

< 参考 > 応急救護所設置の目的等

大規模災害発生直後の混乱時に、後方病院への負傷者が殺到することによる災害医療機能の混乱を防止し、後方病院が救急救護活動の拠点としての機能を維持できるように応急救護所を設置し、負傷者のトリアージ、並びに、応急処置を行う。

<設置基準> ①長野市内において、震度6強以上の地震が観測されたとき。

②長野市内において、地震が観測され、震度6弱以下の場合、もしくは、震度情報が得られない場合は、災害対策本部長の指示があったとき。

<設置期間> 災害発生後、概ね3時間（開設準備終了後）～ 概ね24時間

(地震想定)

午前7:00
震源地：長野県北部
地震規模：マグニチュード7.4
最大震度：震度6強

(被害想定)

[罹災者]
第1～第4地区・芋井地区
5,053人



役員選考会のため来校された本校PTA会長が顔を出すと、さっそくトリアージの実演を依頼されていました。

部活動等の新人戦などの結果

男子バスケット	市新人大会	▲41-47 篠ノ井東中 ○61-53 信州新町中	9位	
	北信新人大会	▲34-37 墨坂中		
女子バスケット	市新人大会	▲17-89 篠ノ井東中	▲8-74 東部中	
	北信新人大会	▲15-65 飯綱中		
男子ソフトテニス	市新人大会	団体戦Bリーグ	3位	
	北信新人大会	団体戦Aリーグ	3位	
女子ソフトテニス	市新人大会	団体戦Aリーグ	2位	
		決勝トーナメント1回戦	▲0-3 更北中	
陸上	東北信新人大会	2年男子走り幅跳び	7位	
	県中学校駅伝大会	男子84位 女子63位		
外部部活	水泳	北信新人大会	1年女子100m 平泳ぎ 1位 1年女子100m 自由形 4位 2年女子100m 自由形 3位 4位 2年女子100m バタフライ 2位 2年女子 50m 自由形 4位	
		バドミントン	市新人大会	2年男子1名 個人戦4位
			東北信新人大会	2年男子1名 個人戦ベスト8
		柔道	市新人大会	1年女子1名 個人戦 体重別 1位
			北信新人大会	1年女子1名 個人戦 体重別 1位